

2023年度 薬理学関連教科担当教員会議 議事録

日時：2023年8月24日（木）14:00～18:00

（情報交換会 18:30～20:00）

会議形式：現地開催

場所：徳島大学薬学部 蔵本キャンパス 長井記念ホール

議長：三澤 日出巳（慶應義塾大学薬学部）

出席者：別途記載

配布資料：

- 【資料1】2023年度 薬理学関連教科担当教員会議名簿
- 【資料2】教員会議役員 2021-2025
- 【資料3】薬理学関連教科担当教員会議会則
- 【資料4】第108回薬剤師国家試験問題検討委員会薬理部会の報告
- 【資料5】日本薬学会薬理系薬学部会の活動について
- 【資料6】生体機能と創薬シンポジウム2024 京都 開催概要
- 【資料7】2024年度 薬理学関連教科担当教員会議 次第（案）
- 【資料8】適切かつ必要と考えられる薬理学実習の内容の調査について
- 【資料9】南山堂 書籍「薬理学実習の実際とデータの見方」について
- 【資料10】令和4年度コアカリ改訂における「D 医療薬学」の位置づけと、「F 臨床薬学」との繋がり
- 【資料11】特別講演「化学が先導するペプチド創薬」

14:00 開会

委員長挨拶

本年度委員長 三澤日出巳（慶應義塾大学薬学部）より、本会議開催の挨拶を行なった

新委員紹介（資料1）

本年度の委員名簿を提示し、新委員11名（うち会議出席者8名）が登壇して自己紹介を行なった。

次年度役員の選出（資料2）

次年度の役員構成について、[資料2]が提案され、以下の通り承認された。

令和6年度（2024年度）委員
委員長 檜井 栄一 岐阜薬科大学
副委員長（国公立） 津田 誠 九州大学
副委員長（私立） 堀江 俊治 城西国際大学
参与（国公立） 中村 浩之 千葉大学
参与（私立東日本） 前田 武彦 新潟薬科大学
参与（私立西日本） 加藤伸一 京都薬科大学
事務局 中原 努 北里大学
事務局補佐 松尾 由理 北陸大学

（委員長の連絡先：檜井 栄一 岐阜薬科大学 薬理学研究室 hinoi-e@gifu-pu.ac.jp）

薬理学関連教科担当教員会議 会則（資料3）の確認

会則が確認された。

14:20

第108回薬剤師国家試験問題検討会報告（資料4）

問題検討委員会薬理部会 委員長 喜多 紗斗美 先生（徳島文理大学薬学部）

喜多先生より、[資料4]に沿って説明・報告があり、質疑応答を行なった。今後の国会試験問題検討委員会についての説明があった。

14:50

日本薬学会薬理系薬学部会の活動について（資料5）

日本薬学会薬理系薬学部会 部会長 上原 孝 先生（岡山大学薬学部）

上原先生より、[資料5]に沿って活動報告があった。

次年度の生体機能と創薬シンポジウムについて（資料6）

2024年度実行委員長 加藤 伸一 先生（京都薬科大学）

加藤先生より、次年度の生体機能と創薬シンポジウムについて、2024年8月29日～30日 京都産業会館ホールにて開催される旨紹介があった。

次年度の薬理学関連教科担当教員会議について（資料7）

2024年度委員長 檜井 栄一 先生（岐阜薬科大学）

檜井先生より、次年度の薬理学関連教科担当教員会議について、2023年8月29日

開催（「生体機能と創薬シンポジウム 2024」と合同）の旨案内があった。

15:10

審議事項 1 「適切かつ必要と考えられる薬理学実習の内容」の調査について

薬学教育協議会への提案を取り纏めるための意見交換（資料 8）

薬理学実習の現状と今後の在り方について意見交換を行なった。委員長を中心に取纏めて薬学教育協議会に提出することが確認された。

審議事項 2 南山堂 書籍「薬理学実習の実際とデータの見方」について（資料 9）

私立薬科大学協会（薬理学関連教科検討委員会）が 1999 年に出版した書籍について、情報共有と今後の方針について意見交換を行なった。

15:45

講演 令和 4 年度コアカリ改訂における「D 医療薬学」の位置づけと、「F 臨床薬学」との繋がり（資料 10） 帝京大学名誉教授 小佐野 博史 先生（zoom 講演）

小佐野先生が 40 分の講演を行なったのちに、10 分間の意見交換を行なった。

（休憩）

17:00

特別講演（サイエンスセッション）「化学が先導するペプチド創薬」（資料 11）

徳島大学薬学部 大高 章 先生

大高先生が 50 分の講演を行い、その後 10 分間の質疑応答を行なった。

18:00

閉会

情報交換会

生協食堂 18：30～20：00

以上

2023 年 9 月 4 日作成